

小学校6年 子供一人一人が自分事として思考する、番組を活用した授業づくり

～「いじめをノックアウト」から SNS でのいじめの対応を考える～

東京都杉並区立天沼小学校 澤 祐一郎

【実践報告の概要】

日常生活で経験しやすい出来事を題材として扱った番組を視聴したことで、子供たちは自分事として学習内容に臨むことができた。クラスの友達や番組クリップなど、様々な視点から「SNS でのいじめ」への対応を考え、いじめ予防やいじめ防止を目指して、主体的に学習している姿が見られた。



【取組の具体】

小学校6年特別活動「SNS のいじめと向き合おう」

1. SNS に関する実態を知り、学習課題を設定する。

- ・ SNS の意味を確認する。
- ・ 事前に行った無記名でのアンケートを確認する。
「友達を仲間外れにしたことはありますか。」



- ・ 事例から SNS のいじめが増えていることを確認し、どのように対応するか学習課題を設定する。

2. “SNS のいじめ” に対して、どのように対応すれば

いいか話し合う。

- ・ 『いじめをノックアウト』の「SNS のいじめ」(前半)を視聴し、「悪口を言いたくないのに言わないといけない状況」でどのように対応すればいいか話し合う。(二項対立)
- ・ 同番組(後半)を視聴し、「自分がターゲットになり、心が傷ついてしまった状況」でどのように対応すればいいのか話し合う。



3. 日常生活における自分の行動を考える。

- ・ SNS でのいじめで苦しむ人がうまれないために、必要なことは何かを考え(ワークシート)、話し合う。

4. 学習を振り返る。

- ・ 番組内のクリップ「みなみの考え」を視聴する。
- ・ 今日の学習を振り返る。

【活用番組と実践者による番組分析】

活用番組「いじめをノックアウト」

- 子供たちの実生活の経験から番組が構成され、SNS でのいじめをはじめとして、「いじめ」を考える題材として適している。
- 登場人物の「心の声」が意見として取り入れられており、自分事として「いじめ」を考えやすい。

【本実践における工夫点】

アンケートによる実態調査と事例紹介

番組を自分事としてより捉えやすくするため、「アンケート」と「事例紹介」を行った。アンケートは無記名のため、匿名性が高く、子供たちの本音を引き出しやすかった。また事例紹介では、同年代の子供が SNS でのいじめで苦しんでいるニュースを扱った。

番組クリップ「みなみの考え」の活用

学習の振り返り場面では、番組クリップ「みなみの考え」を視聴した。状況によって対応が異なる「いじめ問題」に、対応方法の正解はない。ただ、自分の対応の指針をもつことで、いざその状況に陥った際に戸惑いや不安感を軽減できる可能性はある。他の人の意見を受け入れ、考えの幅を広げることを目指した。

【本実践の成果○と課題●】

- 番組視聴を通して、SNS ツールは友達や知り合い同士で手軽にコミュニケーションを図ることができる一方で、簡単に人を傷つけてしまうこともあることを理解していた。
- SNS でのいじめに自分が苦しむ状況になった際、どのように対応するのか自分事として考えていた。
- GIGA 構想が進む中で、本事例以外にも題材を取り扱い、情報モラルを高められるようにしていく。